

認定権者記載欄

様式第5-(イ)-⑬

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(イ-⑬)

令和 年 月 日

相馬市長

住所

氏名

印

(名称及び代表者の氏名)

私は、表に記載する業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因し、下記のとおり、(注2)が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

(表)

※表には、指定業種であって、売上高等の減少が生じている事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を記載。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

記

売上高等

(1) 最近3か月の企業全体の売上高等に対する、上記の表に記載した指定業種(以下同じ。)に属する事業の最近1ヶ月間の売上高等の減少額等の割合

$$\frac{C-A}{D+E} \times 100 \quad \text{割合} \quad \%$$

A: 申込時点における最近1か月の指定業種に属する事業の売上高等 _____円

B: Aの期間前2か月の指定業種に属する事業の売上高等 _____円

C: 最近3か月の指定業種に属する事業の売上高等の平均 _____円

$$\frac{A+B}{3}$$

D: Aの期間に対応する企業全体の売上高等 _____円

E: Bの期間に対応する企業全体の売上高等 _____円

(2) 企業全体の売上高等の減少率

$$\frac{F-D}{F} \times 100 \quad \text{減少率} \quad \%$$

F: 最近3か月の企業全体の売上高等の平均 _____円

$$\frac{D+E}{3}$$

(注1) 本様式は、業歴3ヶ月以上1年1ヶ月未満の場合あるいは前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合で、指定業種に属する事業の売上高等の減少が申請者全体の売上高等に相当程度の影響を与えていることによって、申請者全体の売上高等が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

第 号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

認定者名 相馬市長 立谷 秀清

(注) 本認定書の有効期間: 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

相馬市長 様

(表 1 : 売上高が減少している指定業種毎の最近 3 か月の売上高)

a. 指定業種 (※ 1)		最近 3 か月間の売上高等の実績								
細分類番号	細分類業種名	令和	年	月	令和	年	月	令和	年	月
	業			円			円			円
	業			円			円			円
	業			円			円			円
	業			円			円			円
	業			円			円			円
指定業種全体の売上高		【B】			【B】			【A】		
		円			円			円		

※ 1 : 認定申請書の表には、a 欄に記載する指定業種 (日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名) と同じ業種を記載。

(表 2 : 最近 3 か月の指定業種と企業全体の売上高)

		① 最近 3 か月間の売上高等		
令和 年 月	指定業種に 属する事業全体	(実績額) 【B】		
	企業全体	(実績額) 【E】		
令和 年 月	指定業種に 属する事業全体	(実績額) 【B】		
	企業全体	(実績額) 【E】		
令和 年 月	指定業種に 属する事業全体	(実績額) 【A】		
	企業全体	(実績額) 【D】		
合 計	指定業種に 属する事業全体	【A+B】	平均/月 (A+B)÷3	【C】
	企業全体	【D+E】	平均/月 (D+E)÷3	【F】
		円		円
		円		円

上記のとおり相違ありません。

住 所

氏 名
(名称及び代表者氏名)

印